

会 報

第556号

一人一人が かがやくために

浜松市立佐藤小学校長

伊藤 千恵

本校は、昭和4年に浜松尋常小学校として創立され、昭和22年に浜松市立佐藤小学校と改称された、創立93年目の学校です。浜松市街地の東部、馬込川の左岸に位置し、周りは商店や事務所、会社などが建ち並び、特に、幹線道路沿いは商業が盛んです。学区の南を旧東海道が通っており、昔ながらの伝統的な地区で、古い寺や神社などもあります。古くからのものと新しいものが共存した地区になります。



- 学校教育目標 かがやく子
- 目指す学校像 自分らしくかがやき、共にかがやける居場所がある学校

佐藤小学校は、通常学級、発達支援学級（浜松市では、特別支援学級をこのように呼んでいます）、通級指導教室があり、すべての子供たちの健やかな成長のために、発達支援教育の理念を根幹に据え、キャリア教育の視点から一人一人に応じた支援をしています。温かい雰囲気の中、どの子も輝けるよう、日々教育活動を行っています。

通級指導教室（言語）は、平成10年に設置されました。現在は、幼児ことばの教室が3教室、通級指導教室（言語）が2教室、計5教室で運営をしています。平成18年には、ゆったりとした木のぬくもりが感じられる新校舎が完成し、現在はそこで日々子供たちの指導を進めています。職員は、「楽しく話ができる子」を目指し、その子のもっている課題に向き合うと共に、明るく元気に話したり、前向きに人とコミュニケーションをとったりすることができるよう、一人一人に応じた指導を心掛けています。そして、専門職としての資質を向上させるよう、励んでいます。また、子供たちへの指導の際には、保護者の方に毎回参観していただき、子供への指導や子供の表われを共有することで、子供の成長へと繋げていくようにしています。他校や他園から通う子供さんについては、在籍校、在籍園訪問を行い、連携を図るようにしています。

今後も、保護者の方と連携を図りながら適切な指導を進め、子供たちが笑顔で輝けるよう、職員一同、力を尽くしていきたいと思っております。

佐藤小ことばの教室はこんなところ

佐藤小は、浜松駅から3 kmほど北東にある学校です。中心街に近い立地で、近隣には大きなマンションや飲食店なども多い学区になります。

佐藤小の校舎は、表面の写真の通り南校舎、北校舎と分かれています。その南校舎の1階部分をほぼ占有する形で「佐藤小ことばの教室（児童・幼児）」が設置されています。2006年に改装されたので、まだまだ新しい教室です。教室も廊下も板張りとても落ち着いた雰囲気です。

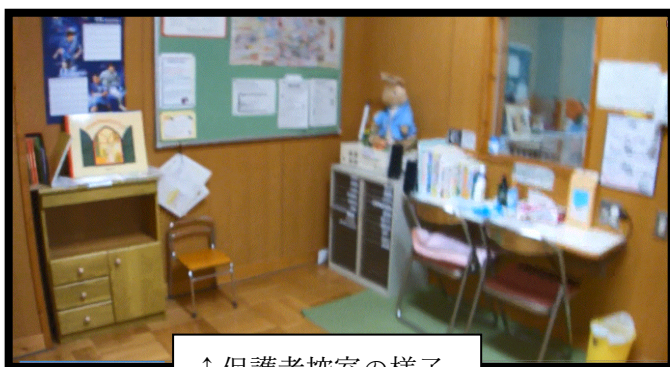
児童2クラス、幼児3クラスの5クラスがあり、児童クラスには、「うぐいす」「かなりあ」、幼児クラスには「ひばり」「ひよこ」「すずめ」と名前がついています。



↑教室の様子1 奥から控室側を撮影



↑教室の様子 控室側から奥を撮影



↑保護者控室の様子

各教室ともに12畳ほどある上に、各教室ごとに独立した4畳ほどの保護者控室があるので、他の保護者を気にすることなく授業参観することができます。佐藤小のことばの教室は本当に広いです。

ただ、「広すぎて、活用しきれない…」という贅沢な悩みがあります。



大きなプレイルームもありますが、トランポリン以外、あまり粗大運動をする遊具備品がないのが悩みです。プレイルームの横にも保護者控え室があり、大きなマジックミラー越しに、プレイルームでの指導の様子も参観していただくことができます。



↑プレイルームの様子



佐藤小 幼児・児童 在籍人数など

現在（R4 5月現在）の佐藤小ことばの教室の通級児童・幼児の人数はこのようになっています。

	クラス数	入級人数	継続相談 の人数	待機の 人数	その他 (校内支援など)
言語通級指導教室	2	26	8	0	3
幼児ことばの教室	3	26	7	0	7

学年の人数

1年 6 人	2年 7 人	3年 11 人	4年 4 人	5年 1 人	6年 3 人
3歳児	1 人	4歳児	11 人	5歳児	28 人

浜松市では、幼児年長児については、明らかな構音障害児、吃音児以外は、年長終了時3月で一度退級となり、小学校入学後、改めて必要に応じて再相談してもらうようになっています。そのため、4・5月が一年間で幼児通級人数がもっとも少ない時期ですが、佐藤小は立地が良いこともあり、年々、幼児ことばの教室への相談人数は増え続け、今年は5月の段階で、すでに40人を超えています。

児童ことばの教室への通級児童については、発音のみ、吃音のみの児童は激減し、ADHD傾向や読み書き等のLD傾向の子の相談が増えている状況です。それに伴い、児童では通級期間の長期化も大きな問題になっています。佐藤小も3年生以上の通級児童がこの3年間で2倍になりました。通級のゴールを適切に設定するためにも、在籍校訪問に力を入れています。